

【日本超音波骨軟組織学会 教育セミナー中級編 受講要項】

1. 募集時期：毎年1月から3月の間に次年度の募集をホームページなどで行う。
2. 開催時間と日数：合計の開催時間は16時間とし、これを2日間で実施する。
3. 最小開催人数は5名以上とし、最大開催人数は15名程度とする。参加者が5名以下の場合は開催しない。
4. 受講資格：医療系の国家資格を持つ本学会の正会員で、過去3年間の参加ポイントが14ポイント以上修得した者とする。（下記、参加ポイント一覧参照）

【参加ポイント一覧】

1. 学会誌論文掲載(原著論文)：14ポイント
 2. 学会誌論文掲載(研究ノート、短報)：10ポイント
 3. 発表（全国大会）：12ポイント
 4. 発表（支部学術集会）：8ポイント
 5. 発表（超音波ハンズオンセミナー）：4ポイント
 6. 参加のみ（全国大会）：4ポイント
 7. 参加のみ（支部学術集会）：2ポイント
 8. 参加のみ（超音波ハンズオンセミナー）：2ポイント
5. 受講に関する必要事項
 1. 受講年度と、その前年度に継続して正会員であること。
（注）学生会員、賛助会員は受講できない。
 2. 超音波画像診断装置を所有しているか日常的に使用できる環境であること
 3. パソコンとワード及びパワーポイントの使用環境を用意できること
 4. 超音波画像をパソコンに取り込める（データ化できる）環境を用意できること
 5. パソコンのE-mailで情報のやり取りが可能な環境を有していること
 6. 受講料：3万5千円
（レポート未提出者や途中辞退者は受講資格を失い、受講料は返金されない。但し、30,000円を追加納入する事によって、次年度以降、新たに再受講する事を可とする。）

【日本超音波骨軟組織学会 教育セミナー中級編 開催要項】

第1日目・・・

1. 実技チェック並びに講師指導
2. 音響工学と機器の安全な使用法学習
3. 症例教材を基にした、講師を交えた全員での検討ディスカッション
4. 持ち寄り症例によるプレゼンテーション実習
5. 研究発表レベルでのプレゼンテーション原稿の作成指導ならびに修正作業

第2日目・・・

1. 持ち寄り症例の発表。その後、講師を交えた全員での質疑応答を行う。なお適当な症例と課題が無い受講者については、事前に必ず事務局に問い合わせること。
2. 症例教材を基にした、講師を交えた全員での検討ディスカッション
3. 実技チェック並びに講師指導
4. 1ページ抄録の作成方法、レポート（文章）の書き方

なお、開催日程、内容などは変更されることもあるので詳細は都度、受講者に通知する。

最終課題・・・中級編修了レポート（抄録形式）の提出後、査読員による査読を実施する。合格の者に対して修了とする。なお、必要に応じて修了レポートは学会誌に掲載する。